



曾谷の風

学校教育目標「『ゆめ あすから』チャレンジする子どもたち」

東国分爽風学園
市川市立曾谷小学校
校長 田部井 伸郎

[→爽風学園ブログはこちら](#)

[→「爽風だより」はこちら](#)

[→学校ホームページはこちら](#)

曾谷っ子の合言葉

「元気・本気・勇気」～3つのキを育てよう～



運動会練習

運動会練習開始から3週目、最終週を迎えました。

まさに今、運動会練習真っ只中であり、学校が運動会中心に動いています。集団演技の練習は2学年ごとに取り組んでいますが、練習を重ねて格段に上手になっています。

低学年の1・2年生は「曾谷っ子ケセラセラ」(ダンス)、中学年の3・4年生は「よっちょれ曾谷っ子～鳴子を鳴らせ～」(民舞)、高学年の5・6年生は「夢をカタチに、想いを共に」(表現)です。



応援練習、紅白リレーの練習、開閉会式の練習も、休み時間や給食の待ち時間をうまく活用し、大切な授業時間を削らずにしっかりと練習に励んでいます。

そして本日、1回目の全体練習も行われました。子どもたちは24日(土)の本番に向けて一丸になって取り組んでいますので、当日をお楽しみに！

読み聞かせ「ぶくぶく」

本校では、読み聞かせボランティア「ぶくぶく」があり、その皆さんによる読み聞かせが行われています。現役の保護者、PTAのOB・OG、地域住民の方々です。



朝学習の時間を活用して、今年度第1回目の読み聞かせが16日(金)に行われました。実物投影機を使って、読み聞かせをしていただきました。

子どもたちは笑ったり、驚いたり、本当によく聞いていました。とても良い機会になったと思います。

曾谷小では今年度も、日頃から読書に親しんで本を身近に感じたり、読書習慣につながったりすることを目標の1つにしていますので、「ぶくぶく」さんの活動は本当にありがたいです。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

ご家庭でも、お子さんの読書習慣づくりにご協力をお願いいたします。

ウィズルーム

「ウィズルーム」(校内教育支援センター)については、これまでもお知らせしているところです。

教室内の整備を進めておりましたが、この度、「パーテーション」が完成しました。ウィズルームは、心を落ち着けることができる「校内の居場所」ですので、パーテーションがあることで、より安心ができるという児童が増えると思います。



このパーテーションはお子さんに合わせて使い方は自由自在です。そのうえ圧迫感を感じないよう、下の部分は開けてあります。すばらしい出来です。

これは購入したものではなく校内で作ったものです。「みらいサポーター」の村田先生・周郷先生・佐藤先生の3人が相談して「こんなパーテーションがほしい」という思いを、用務員リーダー・中村さんが実際に形にしたものです。

パーテーションも加わり、多様な子どもたちに寄り添える場を提供できるようさらに努めていきます。 →[ホームページ記事](#)

給食配膳ボランティア

1年生の給食開始からお手伝いいただきました「曽谷小応援隊」の給食配膳ボランティアは、継続して続いておりました。



最初の週は毎日お手伝いをお願いしていました。次の週からは、週の最初の日（月曜または火曜）だけお願いしました。

4つある給食当番グループの最後の番となりますので、夏休み前のお手伝いは終了です。これで全員が配膳の指導を受けたことになります。

お陰様で1年生は、給食当番のお仕事にも慣れ、随分早く「いただきます」ができるようになりました。ありがとうございました。

次は夏休み明け、9月になってからまたお手伝いをお願いしています。

教育実習生

今月に入り、曽谷小学校に2名の教育実習生が来ています。約1か月間様々な経験をして、教師になるための勉強をします。1名は3年1組の野崎学級に、もう1名は4年2組の齋藤学級に入っています。

教育実習生を迎えるということは、実習生本人が勉強になるのはもちろん、子どもたちから見て年齢が近いお兄さん・お姉さんなので親しみやすく、担任とは違った関わりができることで、コミュニケーションや社会性の学習となります。

教職員にとっても、教師になるためには通ってきた道ですので、教育実習生が来ると、それぞれの実習生時代を思い出し、初心に返ることができます。

このように、実習生が来ることは学校にとって良いことが多いです。

ぜひ本校でたくさんの勉強と、子どもたちとのいい思い出を作ってもらいたいと思います。 →[ホームページ記事](#)